

新潟県

公民館月報 1

平成13年1月号 通巻第575号



表紙 「越後あらい景虎物語」
(新井市公民館)

海外研修視察報告記

第34回欧州社会教育事情視察に参加して

視 点 図書館は学び憩い交流の場

ひろば これからの公民館施設

実践記録 2000 こしじ共育センター

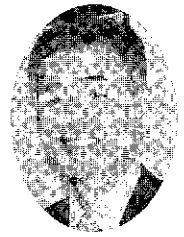
サークル交流 五泉を彫る会 (五泉市公民館)

妙高村薬草の会 (妙高村公民館)

素顔拝見 加藤守さん (新津市)

富永弘さん (小出町)

新年を迎えての年頭所感



北の地で 会長 今井昭友

昨秋、釧路市で第 23 回全国公民館研究集会が開かれた。

釧路といえば、漁業、湿原と名高く新潟とは縁が深い。地元の新聞は「釧路・根室の秋サケ漁不振」と報道しており、本県からの移住者が多い場所であり一寸心配になった。

湿原といえば、新潟市の佐潟もラムサール条約指定の間。湿原に生息する丹頂鶴から佐渡のトキが連想され、自然に親しみを感ずる。今回は、公民館と

人との出会いを中心に話をしたい。

私は、第十分科会「公民館の管理運営」を担当し、打合せで助言者の小山忠弘札幌国際大教授と面識を得た。氏は教師、教育長、大学教授と実践を通じ、多面的に公民館を捉える。本番では、視点の高さが注目され、参加者に満足感を与えた。

また、全公連が文部省の委嘱を受けた「公民館の子育て支援活動推進委員会」の座長であり、そのメンバーに青池真佐子新潟市坂井輪地区公民館長も加わっている。

そして、昨夏の五十年周年記念県公民館大会の記念講演・廣瀬隆人宇都宮大助教授とは師弟関係といい、何年来の知己のように思えた。

前夜祭のレセプションでこの広瀬氏が私の所に飛んで来た。つい先刻、お会いしたばかりの小山氏を喜々と紹介するではないか……。そして、新潟における「地域学」、聖籠町県大会の話へと発展して行った。

何と、ここ北の地、北海道で松本清張ばりの、人が点から線を描く軌跡の妙を味わうことが出来たのだ。

一方、大会期間中に併行して開かれた全公連理事会では、今大会実行委員長で、北海道公民館協会会長の山田和弘釧路市教育長の隣に座ったことは幸運であった。監査役では、私が一年先輩ゆえ会議中は何かと耳打ちをした。そんなこともあってか、二日目の役員懇親会では二次会まで相伴にあずかった。

氏は、「屯田塾」と称した山小屋を建て、自然と人間との交流が二十年になると掲載(月刊公民館 H12・9)されていたが、正に社会教育畑の教育長である。

また、ニセコ町では保健婦が社教主事講習に挑戦していると聞いたが、これも一つの「融合」である。

最終日の記念講演は、ムツゴロウ動物王国ゼネラルマネージャー、石川利昭社長が動物に囲まれた生活から、犬の子育て

を例にとり、少年のナイフ事件まで話は及ぶ。物豊かとなり心貧しい。現代を憂い、子どもの行動は、大人社会の投影であると警鐘。彼自身が市の社会教育委員をしていることもあって、高校生が委員になっても良いと「発想の転換」を求めた。確かに、武蔵野市では、歌手のみなみらんぼう氏が教育委員になった(H12・10・15 朝日新聞「ひと」)

帰新するや、知床の斜里町から視察があった。この教育長も社会教育出身という。

「総合学習への移行」の近道は案外この辺に秘められているのかも知れない。

新年にあたり、「人との出会い」が如何に大切か、特に公民館人の交流は得難いことを実感した。

今年の全国・兼関プロ大会は長野県である。隣県で皆さんに会える日を楽しみに。

二〇〇一、一、一



金文「巳」 今井会長揮毫

公民館振興市町村長連盟

平成 12 年度理事・代議員会開催さる

県公振連鈴木事務局長出席
平・12・12・8(金)
於東京都・麹町会館で

去る 12 月 8 日(金)、東京・麹町会館に於いて平成 12 年度理事・代議員会が開催された。

あいにく市町村議会開会中のため、会長代行、副会長の都合がつかず、事務局長が代理出席した。

議事は、第 1 号議案、平成 11 年度事業報告及び収支決算について、第 2 号議案、平成 13 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について審議され、両議案ともにそれぞれ原案どおり認定、可決された。また、第 3 号議案振興市町村長連盟規約の一部改正について提案され、原案どおり可決された。(一部改正の新旧対照表については、次期総会で報告の予定)。最後に第 4 号議案として副会長、監事の辞任に伴う役員の変更について提案され、左記のとおり可決、承認された。

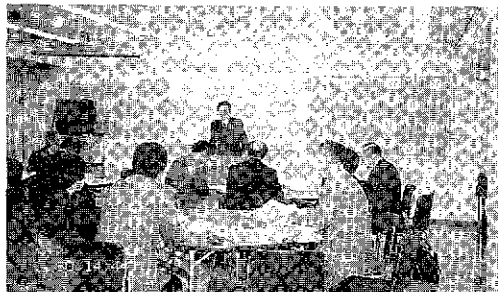
副会長 松沢直太郎氏(山形県)

監事 山根教則氏(岡山県)

監事 田中隼人氏(山梨県)

監事 田中隼人氏(山梨県)

開催 研修会 理事会 公連プロ 於国立婦人教育会館 (埼玉県嵐山)



今回で3回目の標記研修会は、今年度は埼玉県嵐山町にある国立婦人教育会館で、12年11月30日(木)・12月1日(金)の二日間に行われ開催された。

第1日目は、まず、①「全公連の取組み状況」として、全公連松下副会長から情報化時代への対応として、IT革命に伴う文部省予算の増額・配当状況等について、また全公連創立50周年記念事業等の説明と協力要請がなされた。

②現代の急務の課題である「IT時代と公民館」について法政大学助教授坂本旬氏が、理論と具体的な事例をおして、その必要性を説かれた。

第2日目の研究討議では、①第24回全国公民館研究会における関プロ都県の分科会担当について長野県公連より提案され、相互の協議をおしてそれぞれの都県の担当分科会が内定。

②最後に、全公連創立50周年記念事業への協力要請が全公連事務局よりなされ、全面協力していくことが了承された。

これからの公民館施設

大和町社会教育委員 小倉恵子



今年度の郡社連秋期視察研修会に参加させていただいた

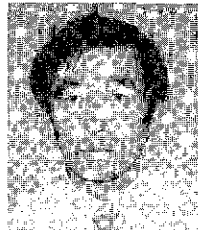
これからの公民館施設は、広域な市町村を抱えているので、増々利用者が増えるものと思う。

ある新聞に、公民館施設の利用を有料化に、との記事があった。学習要望の高度・多様化で生涯学習等のサービスなどを税金だけで賄うのは見直す時代になってきたと言うものだった。これは、前年春に新潟市の公民館運営審議委員会が審議されたことだった。確かに、十日町市のように、大規模になれば何年も無料のままを続けられるのが困難な気がする。しかし、町村の公民館となると施設の規模が違うわけだし、公平な利用を考えると有料も難しい面が考えられる。

視点

市民待望の図書館が市制施行30周年記念事業として進められ、平成12年11月1日に開館した。

図書館は葛塚地区にあり、高校1校、中学校2校、小学校2校が近くにある。このため



図書館は学び、憩い、交流の場

頓所洋一

が、図書館というスペースで、着実に新しい自分たちのコミュニケーションの空間を構築しているように思う。図書館ではティー・ンズコーナーを設け、

学校帰りなどに図書館を利用し、お互いに学び合う姿がよく見かけられる。「他人との距離の取り方がうまくできない」「ジコチュウ」が多くなってきたり、などとも言われている。

十代の人達に相応しい資料を用意している。このコーナーの充実、あわせて学校との連携によって生徒等の読書活動の活性化が図れるよう取り組んでいる。利用者の年代は幅広く

く、親子はもちろん、孫を連れ図書館を利用するお年寄りもいる。今、図書館は愛読者だけの空間ではなく、学び、憩い、交流の場として市民生活に密着(豊栄市立図書館係長)

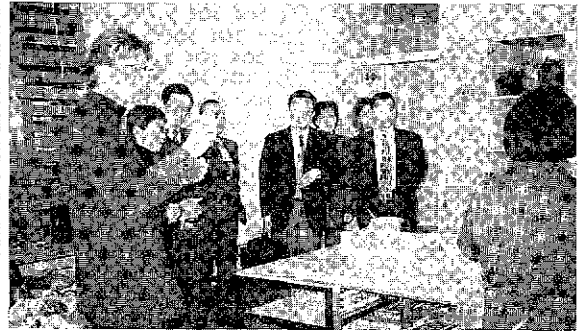
ひろば

読書が好きで私にとって、いつでも気がねなく本が読めて、疲れたら音楽を聴いたり、好きなビデオを観賞したりして、さらにコーヒーを一杯、そんな一日を過ごしてみたい。忙しなく騒々しい世の中、二十一世紀にはこうした施設が求められ、必要となるかも知れない。

から観光等様々な情報を知ることができ。さらに、大画面を備えた視聴覚ホールは、ステージもあつて多目的な利用ができる。こんな大規模な「新しい形の図書館」を設立できた十日町市はすばらしい、そして、やはり嬉しい限りだ。と、共に維持費は無料と聞いた。利用度もまだ

視察に参加して

伊藤 雅彦



オーストリア、ウィーン市民教育協会成人教育センター

☆ 得る事多くありました
(社) 全国公民館連合会の事業による欧州社会教育事情視察団として参加させていただきました。この推薦をしてくれました県公民館連合会に感謝しております。視察国は、ドイツ、オーストリア、オランダ、フランスの四方国でした。

視察研修では、文化的な事等得るものが多くありました。欧州には、行政主導の公民館というものがありません。文化の相違とは言え、欧州に学ぶべきこと、また、これから見据え、研修で得たことを公民館活動に生かして行きたいと感じています。

視察団は、国内から私を含め 6 人でしたが、それぞれで活躍されている方たちです。私なりに得たことを次のとおりまとめました。一読いただければ幸いです。

☆ 一年前から会館、週 10 時間ボランティア・労働者福祉協会社団法人ベルリン支部南マルスドフ地域「出会いの家」

施設は、ドイツの六市民開福祉団体のアボ(AWO)が一年前から開館しています。建物は、一九一一年に建設されたもので、銀行、レストラン、学校、ソ連軍の司令部、幼稚園として利用されてきました。出会いの

家の地域は、旧東ドイツ側で、住宅地域です。

活動内容でユニークなのは、ヨガ、気功を行っていることです。参加者には、ヨガについて負担をしてもらっていますが、気功についてはアボが負担をしています。日中開催のため、参加者は女性が多くなっています。高齢者の割合は、70%から75%となっています。

・課題……二〇〇一年から州の資金援助の仕組みが変わります。また、アボに若い人たちが入会しなくなりました。

・所感……出会いの家を福祉団体が運営していることに関心をもちました。担当者は、10 時間をボランティアとしていますが、本人の生計は成り立つのか聞きたかったです。しかし、失礼にあたるので、だれもそのことには触れませんでした。

☆ 誰でも通える施設・ウィーン市民教育協会成人教育センター

施設は、ウィーンに 18 ある中の一つで人気が高いです。講座の種類は、24 あり、24 の部屋で年間 80 コースを開催。学校の規模は大きく、センターの周りには、職業学校があり(15 歳で入校)実習生として来ます。誰でもこの施設に通え、中小企業にもバックアップしています。他

に博物館、図書館、劇場が周りにあります。

活動は、ハンディキャップを持った人、失業者、学歴の無い人等通信教育も受けられる体制があります。卒業者には、証明書が発行されます。語学(70 カ国)やコンピュータ、体操などのコースがあります。一コースは、20 日 25 時間。授業料は語学であれば、一四〇〇シリング(日本円で一一、二〇〇円)、コンピュータは、三、二〇〇シリング(日本円で二五、六〇〇円)です。

・課題……ハンディキャップを持った人たちの、企業への受け入れを 50% 目指していますが、うまくいっていません。

・所感……施設は、日本での職業訓練をする学校というほかに、幅が広いと感じました。「この施設の人数が出れば入学する人が増え、制限をするか試験をするか」という質問に「入学する人たちに応えて行く。試験などナシセンス」という素振りや回答をしてくれました。共産国というお国柄では、と感じました。

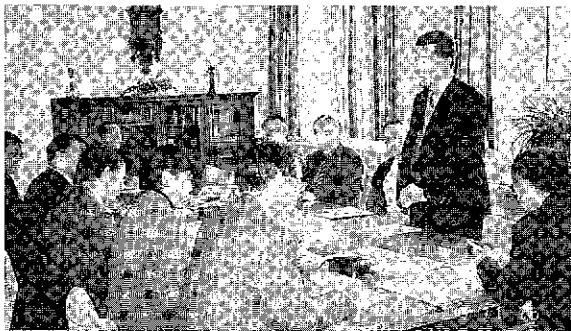
☆ 日本のように午後からも授業を検討・ランスフット郡政府
郡政府の機関は、日本では広域連合的な組織。ランスフット市と協力し政策を進めています

す。議会の組織があり、61 人の議員で郡長もその中の一人。任期は、6 年。工業学校、農業学校、専門学校と三つの病院を管理しています。ランスフット市自体でも一つの病院を管理しています。

活動として、四つ挙げています。学校、環境、社会福祉、地域の活性化です。学校面では、これからも建設をして行こうとしています。環境面では、過去に廃棄された汚染ゴミの回収を 35 の自治体から行い、その処理に努めています。社会福祉では、州と話し合いながら病院整備を進めています。現在、四点目の地域活性化に力を入れていきます。新しく、スポーツ協会を設立しています。ボランティアと言っていますが、トレーナーには少しばかりのお金を支払っています。協会が 1/3、郡と州が各 1/3 ずつ負担しています。

・課題……学校が午前中で終るため、日本と同じように午後からも行う考えを持っています。これは、夫婦共働きで、子どもたちが不良化に走る傾向が見られるからです。青少年育成は、地方自治体任せになっており、郡政府でも大切なこととして、取組みを検討しています。

・所感……ドイツにおいても、青少年問題の解決の悩みは同じ



《海外研修視察報告記》

第34回欧州社会教育事情

○視察団員

聖籠町公民館長

ドイツ、ランズフート郡政府で、局長からの説明

と感じました。郡政府では、自治体任せにはしておけないという姿勢が、どう展開していくのか興味を持つものです。良いところは、学びたいという気持ちでドイツでもあることを知りました。

☆認定書保有者は企業から引き合い・ランズフート市民学校施設は、市民のためにいつでも参加できるシステムですが、営利を追求する民間経営です。38人の先生がいます。建物が歴史物に指定されており、教室は狭く、10人から20人程度の机、イスが思うように向かい合うことができません。修繕の時に壁画が発見され、そのままにされている部屋があります。

活動では、外国語コースを行っており、英語に人気があり、次いでフランス語、イタリア語の順になっています。外国人のためにドイツ語を教えています。ロシアからの引揚げ者に対してであり、職安が関係しています。一九九九年は、一五〇コースで二〇〇〇人が参加。また、貿易の演習を行っており、普通の企業での取引きを教えています。看護婦を養成し、介護士も養成しています。学校では認定書を発行していますが、もらった人は企業から引っぱりだこです。

・課題……成人を社会復帰させるということもありますが、少年教育が無いこと。
・所感……市民学校は、日本での専門学校のようにした。コースは多くあり、入学試験はありません。ロシアからの引揚げ者に、国策で手厚い保護をするなどの問題があることを感じました。民間経営とはいえず、歴史物指定に従わなければならないという意識の強さに感心させられました。

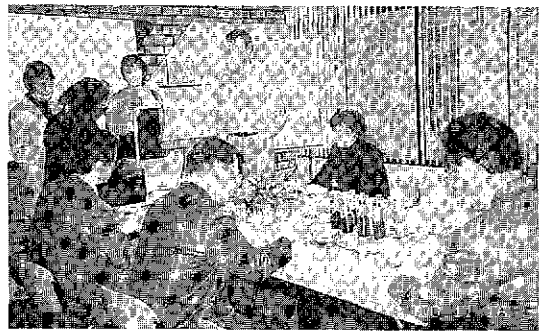
☆おもちゃ貸出・ボランティアを派遣・ダウブンドレクト市ビュートハウス
施設全体が、市の所有であり市に賃借料を支払っています。スポーツ施設、図書館、ミニバー的なアルコールを飲料できる場所(この組織活動ではないが)もありです。

活動は、講座の会場探しなどの事務的な仕事が行われています。他の会場で、講座や教室が行われ、施設では、おもちゃの貸し出しを行うほか、人暮らし老人の方や母子家庭の生活困窮者に、ボランティアの派遣もしています。病院への通院、その世話やベビーシッター、大工工事等です。ボランティアの日当はありません。ビュートハウスでは、快適にボランティアが続けられるように配慮している

ため、大勢のボランティアがいます。
・所感……運営では、第一理事が七人おり、その中で二人分の給料が出ますが、他はボランティアです。地域の人たちが地域のために、という意識が強くあり、その中にボランティアが根付いていることに感心させられました。また、講師や先生は、アムステルダム市が近いので、対応が容易なことに恨めしさを感心しました。

☆二〇〇一年から協会の入札……パルククラブ活動センター施設運営は、パリ市と協定を結んで、協会が管理を行っています。パリには、活動センターが40あり、この施設は二〇〇〇平方メートルの大きさに二階建てです。唯一、劇場のある所で、講師も含め40人が働いています。

活動は、日本の公民館とほぼ同じような事業展開をしています。教室や講座は有料で行われます。参加者の年齢層で多いのが、20歳から40歳の人たちです。珍しいこととして、日本の武道を教室として開いています。他の活動センターと交流を試みましたが、うまくいきませんでした。現在は、情報交換程度です。



オランダ、ダウブンドレクト市ビュートハウスで

を展開しており、参加費をいただいているければ日本の公民館と同じ働きと感じました。パリ市議会では、野党側が協会の職員を全員、市職員にと提言しています。日本と逆な方向にあるような気がしてなりません。さらに、運営が協会による入札で改革されることに不安を持ちました。
・日程……11月9日出発、ベルリン着11月10日出会いの家、13日成人教育センター、15日ランズフート郡政府、市民学校、16日ダウブンドレクト市ビュートハウス、20日パルククラブ活動センター、記述以外は移動と自由視察

実践記録シリズ(49)

二〇〇〇こしじ共育セミナー

Ⅰ 幼児・低学年、思春期コース

越路町公民館

社会教育指導員 丸山 京子

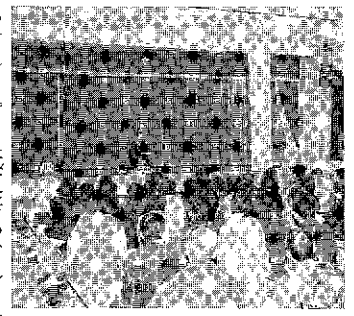


幼児、低学年コース

1、はじめに
「こしじ共育セミナー」は、平成9年に、思春期真っ只中の子どもを持つ親たちの学習の場として、「親業セミナー」という講座名で開講しました。全国的にも子どもたちの不登校、いじめ等が問題になっており、当町においても他人事ではありませぬのでした。子どもから大人へ成

長する我が子の心を少しでも理解し、心の架け橋のかけ方をみんなで作え、子どもと共に成長する親でありたい」という思いを込め、平成10年度より「こしじ共育セミナー」と改め今日に至っております。

2、今年度の取組み
今年度は前期を幼児・低学年コース、後期を思春期コースとし、それぞれのお子さんの年齢に合わせたプログラムを組んでみました。しかし、受け付けてみると幅広い年代層の方が申込みをして下さいました。プログラムによってはお子さんの年齢は関係なく、関心があるのだと思えました。前期のコースは、子どもに「読み聞かせをしてみませんか」をテーマとして読み聞かせの大切さ、絵本の選び方読み方等について、長岡市立図書館司書の松矢美子さんに講習をしていただきました。うれしいことに講座終了後、よみかけ



公開講座

のグループと紙芝居のグループができ、現在町の小学校で子どもたちに紙芝居や本の読み聞かせをしています。

後期のコースは、「思春期という心も体も成長する大事な時期を育てる上で大切なことは何か」ということをテーマに(学校カウンセラー 立川恭子氏)(越路町栄養士 平田紀美子氏)(越路中学校校長 猪爪行雄氏)(越路町教育長 丸山武士氏)と、町内の身近な方を講師に迎え、それぞれの立場で子育てについて大切なことを話していただきました。

また、公開講座としまして、受講生以外の方も対象に、新潟落語会の水都家艶笑氏より「親子関係における笑顔の大切さ」についてお話しいただきました。日頃共育セミナーなどに関心の無い方にも楽しい雰囲気の中で、家庭教育や子育てについて考え、関心をもっていただ

平成12年度家庭教育講座

2000こしじ共育セミナー

◇幼児・低学年コース

回	月・日・曜日	講師・講座内容
1	6月9日(金)	講師 朗読研究家 長岡市立図書館司書 松矢美子氏 子どもにとって絵本とは!
2	6月16日(金)	講師 同上 絵本の世界をのぞいてみたら…?
3	6月22日(木)	講師 同上 さあ!絵本を読んでみましょう☆

◇思春期コース

回	月・日・曜日	講師	講座内容
1	9月22日(金)	ソーシャルワーカー 立川 恭子氏	思春期の子どもの心理 親離れ・子離れ
2	9月29日(金)	越路町栄養士 平田 紀美子氏	成長期の子どもの食事、おやつについて 学校給食からみえる子どもたちについて
3	10月13日(金)	越路中学校 校長 猪爪 行雄氏	2002年、教育課程が変わることに伴う学校と家庭の在り方について
4	10月31日(木)	越路町教育長 丸山 武士氏	これからの子育て、親として・町として・社会として

《公開講座》

10月21日(土) 新潟落語会 水都家 艶笑氏
ここにこしてみませんか… 親子関係における笑顔の大切さについて

たいと思えました。当日は若い方から年配の方まで大勢参加していたので、大きな笑い声会場いっぱいになりました。

講座により、受講者数が増えますが、受講者の方も自分の関心がある講座を受講するため、小人数でも皆さん熱心に受講されておりました。今、悩んでいることや問題が少しでも解決されればたとえ小人数でも良い講座ではないかと思えます。

3、おわりに
これからの子育ては、少子化等子どもを取りまく社会状況のめまぐるしい変化、また情報化

社会の中での溢れるばかりの様々な情報に対応していかねければなりません。その中で親として我が子をどう育てていったらよいか、様々な情報の中から何を選択したらよいか共に考え学んでいかななくてはならないのではないのでしょうか。これからの共育セミナーとしては、情報の提供、講習会、話し合い(子育てについての悩みなど)等、受講後の感想、意見などを取り入れ、子育てを通して親自身も育っていきけるような講座を考えたいと思えます。

サークル交流

郷土を見つめて

五泉を彫る会

「郷土五泉を見つめ、発見し、その感動を版画に彫ってみませんか」の呼びかけでスタートした活動は、今年で5回目。全十二回、半年かけて五泉を題材とした版画カレンダーを作り上げます。「版画は下絵づくりが大切。特にカレンダーは、カ月間の鑑賞に耐えるものでないと」と佐原先生。テーマとなる五泉の風物を決めると、それを、よく見てよく知ることから作業は始まります。一人一人が新たな



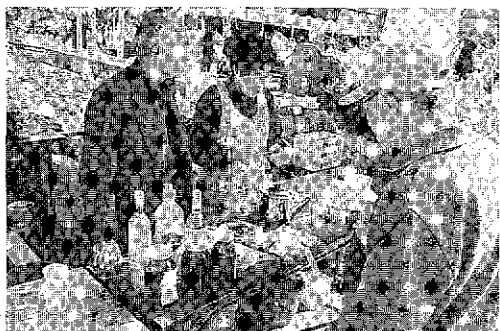
目で見直し、感じた「郷土五泉」が版画として鮮やかに再現されていきます。この会には、初めて彫刻刀を手にする方から県展無鑑査の方まで、また年齢も四十代から八十歳近い方までと様々な方が参加されています。会では佐渡版画村美術館や、斉藤清美術館へ作品の鑑賞にも行きました。とても仲のよい意欲的な友達です。「その人なりに全力を尽くし、その人らしさのある作品になればをモットーに」佐原先生は指導されています。

(五泉を彫る会 羽賀 敬一 記)

ふるさとまつりに大繁盛

十一月五日(日)に、妙高ふれあいパークで開催された「妙高村ふるさとまつり」に、テント・張りのブースを頂き、調理の実演・試食コーナーを設けました。

薬膳料理ということで、お菓子作りの実演と試食、菜草を天ぷらに揚げての試食、スギナ茶の試飲を行いました。当日は、村内外から大勢の来場者で、絶



え間なく人だかりとなり、熱心に会員の説明を聞いて、菜草茶の試飲と、天ぷら・お菓子の試食をしていました。

それと、スギナエキス(スギナの焼酎漬け)を販売しました。が、立ち所に売り切れとなりました。

菜草の会は、必要と関心のある人達が集まり、菜草の研究をしています。特に講師を招いて学習するというのではなく、山野活動、菜草採取、薬膳料理の調理と利用方法等を、自主的に体験学習をしています。

会員相互が、和気藹々と楽しく活動し、秀麗妙高山を持つ、妙高村に相応しい会と自負しています。

(同会 橋田 健三 記)

新津市生涯学習課

主事 加藤 守 さん

生涯学習課勤務四年目となる彼は、すでに「ベテラン」の称号を取得した二十八歳。本欄への登場がやや遅れたが、これは、彼が一番の若年であるため後回しにされたわけではなく、忘れられていたわけでもない。



二十一世紀に備えた「秘密兵器」なのだ。彼は業務に関する幅広い知識と経歴を武器

にじつにいい活躍をする。

市民大学では野山を元気に歩き回り、炭焼体験学習では、自ら炭焼師となり子どもたちを喜ばせる。また一口中動き回ってもピクともしない体力と気力は誠にありがたい。まさに二十一世紀の公民館の扉を開くにもってこいの男である。

あつ、忘れていましたが、彼は独身で、スキーが飛び切りうまくて(という噂)、カッコイイ好青年であります。

(新津市生涯学習課 石津 正弘 記)

素顔拝見

小出町教育委員会

係長 富永 弘 さん

この顔に見覚えのある方は、「あ、ちょっと変わった人だ」と思われたことでしょうか。某女子高の教壇に立った経験もあり、自称「プロフェッサー」と言うくらいにキレ者(ささいなことですぐ怒る)です。

趣味は、普通の人のように登山や読書ですが、この職に就いてから新たな趣味を発見したようです。それは、「遺跡発掘」です。特に資格があるわけではなく、必要に迫られて独学したもので、職場でも「縄文様」とか



「歩く生涯学習」と崇められています。

生懸命動き回り、常に仕事に関しても向上心を持っています。口は悪いですが、仕事にも後進の育成にも熱心です。積極性が取り柄で(ただ岡々しいだけの)明るい教育委員会を作りあげているムードメーカーです。(部下をあんまりいじめないでほしいけれど...)

(小出町教育委員会 稲津 聡志 記)

中公連

平・12・11・28(火) 三条市中公で

公民館長・主事・公運審研修会開催される



中公連、加藤会長のあいさつ

「研修の中公連」をモットーに、今年度最後の標記研修会が、平成12年11月28日(火)、三条市中央公民館で開催され、20余名の関係者が参加した。当連合会からも、今井昭友会長が出席され、開会式であいさつを述べられた。今回の研修テーマは、「地域の活力を掘り起こす事業企画」を設定し、まず「地域政策と公民館活動」と題して、新潟工業短期大学堀川徹夫学長よりご講演いただいた。

そして、三条市中央公民館文

化講座「尺八入門講座」について三条市三曲連盟上木六治幹事より講座紹介していただいた後実践発表に移った。

(1)「生涯学習ボランティアの育成と公民館講座の企画実践」三条市生涯学習課田辺道子副参事

(2)「C&Cサーカスをつくらう」加茂市公民館中野徹主事

(3)「読み聞かせ教室、ふるさと週末教室を通して」栄町教育委員会金子晴喜副参事からそれぞれ実践発表がなされた。

恵贈資料紹介

「よってけし、よるけえ公民館」

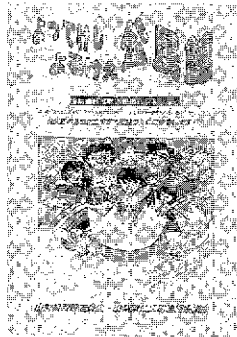
山梨県公民館活性化ハンドブック

山梨県教育委員会・山梨県公民館連絡協議会

山梨県公連よりすばらしい冊子が恵送されて参りました。ざん新かつユニークな表現・内容で、つい手に取って読みたくなります。

内容は、◎公民館・学習支援施設の活性化の視点、◎活性化のための20の提言、◎資料編で構成されておりませんが、中核は何といつても活性化のための20の提言です。

その20の提言も、愛され公民館の条件とは、もつと多くの人のために、人と情報の



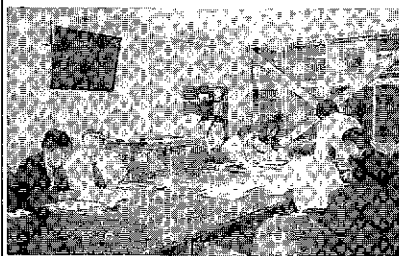
ネットワークづくり、21世紀の公民館の新たな役割、公民館が変わるために、の4つの視点から分類・記述されておることです。また一つ一つの提言も、

①テーマの背景、②活性化の進め方・視点、③活性化の方策、④参考と、具体的に記述されています。本県でもおなじみの廣瀬隆人先生がアドバイザーとして参加しておられます。

第2回編集委員会開催

平12・12・5(火)

「創立50周年記念誌」の校正作業に入る



3グループに別れて校正作業

50周年誌の原稿到着が1ヵ月遅れとなり、必然的に編集委員の開催も遅れ、去る12月5日(火)新潟市中央公民館で開催された。今回増強された三名の方を加え八名の委員全員が出席した。事務局より今までの原稿の到着の状況、記述内容の概要について説明を受けた後、3Gに別れ、作成記述項目に従って市町毎に点検作業に入ったが、相当の時間を要することとなった。

あとがき

◇新年あけましておめでとうございませう。50周年記念事業の実施等で旧年中は本場にお世話になりました。今年も何分よろしくお願い申し上げます。

表紙解説

「越後あらい景虎物語」

上杉謙信の養子「景虎」を題材に地域づくりを展開中。2月10日に冬のイベントが開催されます。

(新井市公民館)

発行所 新潟県公民館連合会
〒951-8053
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【TEL・FAX (025) 224-6073】
発行人 会長 今井昭友
編集人 事務局 鈴木友夫
【定価1部150円 年極1,800円】